

生協もりやま診療所
松岡 美佳

小児



コーナー



『冬の病気』

冬の病気で代表的なものにインフルエンザとロタウイルス胃腸炎があります。

インフルエンザは、かかっている人のくしゃみや咳で外へ飛び散ったウイルスを吸い込むことで感染します。予防にはワクチンが有効ですが、それに加えて流行する時期にはなるべく人混みを避けること、帰宅後はうがい手洗いを忘れずにして予防しましょう。

ロタウイルス胃腸炎は乳幼児では最も重症化しやすく、嘔吐・下痢(白っぽい便)・発熱が主な症状です。乳児対象の経口ワクチンで予防できます。ロタウイルスは患者さんの便や吐いたものに多く含まれ、手指を介して口に入り感染します。食事の前やトイレの後には手洗いをしっかり行い、便や吐物を処理する際は、手ぶくろなどをして直接さわらず汚れた場所を次亜塩素酸ナトリウムの消毒液で消毒してください。